

平成 26 年度予算の主な事業について

1 はぐくみネットを活用した学校コミュニティネットワーク形成支援事業

(予算額 200 千円)

東成区では、小学校区にはぐくみネットコーディネーターが委嘱されており、子どもたちを見守り育むため、家庭、学校、地域と連携し、子どもたちの成長を支えている。地域の中での連携だけでなく、地域間での交流を深め地域内で解決できないような問題にも対応できるよう、小学校区を越えた意見交換会や勉強会を開催し、地域ボランティアスキルアップを図り、地域と学校との連携を促進する。

2 子育てネットワーク構築支援事業

(予算額 490 千円)

子育て世代と地域の子育てサークルとをつなげるため Facebook を活用し、情報発信や相談機能を強化する。

3 東成区発達障がい児支援事業

(予算額 5,549 千円)

発達障がいのある児童が安心して過ごせ、また保護者が安心して子育てできる環境を整えるため、主に乳幼児期の専門相談を行う臨床心理士の配置、学齢期の児童を支援するための発達障がいサポーターの配置を行うことで各発達段階の課題やニーズに合わせた事業を展開するとともに、関係機関の連携を強化することで、乳幼児期から学齢期までの途切れない相談支援体制を構築する。

4 なにわっ子すくすくスタート事業

(予算額 227 千円)

母子健康手帳をお渡しする時や乳幼児健診の機会を利用して子育てにかかる情報を発信する。

5 要保護児童対策地域協議会の運営(児童虐待防止対策)

(予算額 114 千円)

要保護児童対策地域協議会(参加機関:区保健福祉課、児童委員、医療機関、児童福祉施設等)を適切に運営することにより、児童虐待の防止、早期発見やアフターケアの各々の段階に応じた対応を引き続き行う。

【参考】

1 「しぜんふれあいフェスタ」

(自然とふれあう世代間交流事業)

(予算額 344 千円)

子どもたちに、東成区内にある身近な公園の中で自然観察や盛りだくさんの自然遊びなどを体験してもらうことで、まちの自然環境について考える機会をつくる。

2 工場見学会「わが町工場見てみ隊」

(東成区が誇るモノづくり産業発信事業)

(予算額 320 千円)

「モノづくりのまち東成」を積極的にPRし、次世代を担う若い世代や子どもたちをはじめとした区内外の人たちにモノづくりに興味と愛着を持ってもらう。

3 次世代担い手育成支援

(区民による公益的活動の創出・発展支援事業)

(予算額 708 千円)

小学校などと連携しながら、モノづくりなどの体験学習や多様な人材と交流する機会をつくることで、東成区というまちを知り、関心を高め、新たな人材育成を図る。

4 子ども防犯対策事業

(地域安全対策事業)

(予算額 475 千円)

区内の小学校の児童を対象に、区役所地域安全担当職員(通称:あんパト)が主体となり、子ども自身が自分の身を守るための実践的な子ども防犯教室を開催する。